

2016.2 まちの誇り ☆ ぶち きらり

下商チャレンジショップ

神の育成と株式会社での仕組みを学習し、将来の下関市の地域活性化を担う人材の育成を目的としています。今年度は、3年生36人7社が参加して和菓子や洋菓子、下商オリジナルグッズなど各社自慢の商品を販売しました。

元気に販売！ 笑顔で接客！

時間帯によって人の流れに波がありました。生徒たちは元気に笑顔で「いらっしゃいませ」と声掛けをしていました。普段は買わない取組の高校生ですが、こうした取り組みを通じて、販売することの難しさや、お金の価値を学ぶことができたことでしょう。

生徒たちを指導した担当の小畑先生は、「商品を仕入れて、利益を付けて販売し、儲けるといった商売の厳しさを学ぶことができたと思います。このチャレンジショップを通じて学んだことを、今後それぞれの進む道に生かしてほしい」と語ってくれました。

下商で学んだ生徒たちが、いつの日か下関で起業して活躍する日が楽しみです。

★協力していただける企業募集！
下関商業高等学校 ☎223-4278

各社一言インタビュー！

①らふみーる

業者との交渉など大変でしたが、商品が売れるとうれしいです。

②ちびまゆ

自分たちの目標は、「全世代を笑顔にすることです。看板の色使いやデザインなどにこだわりました。

③オールジーンズコップ

商品の色合いを見て並べるのが大変でした。実際買っていただくに本当によろしいです。

④すまいるはびねす

思ったより人が多くてびっくりしました。笑顔忘れずに頑張ります。

⑤ポクポリー

販売する商品を専門学校と共同で作ったのですが、専門学校に提出する企画書作成が難しかったです。

⑥ポルテ・ポヌール

お客さんの流れを想定し、商品の陳列をどうすればいいかを考えるのが大変でした。

⑦アスナブルーム

普段は買う立場なので、実際売る立場になって気が付くことが多いです。いい経験になります。

